

登録コード	HM109800	開講年度	2026				
授業題目	免疫制御学特別研究					担当教員	山条 秀樹 他
英文授業名	Research Thesis in Molecular and Cellular Immunology					副担当	
単位数	10	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加						
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能					さまざまな局面での免疫現象のメカニズムに関する知識を獲得し、これを説明できる。	
(2)詳細/Detailed information	免疫学の最新の研究に触れつつ、その進め方を学び、自らの研究活動に生かす能力を涵養する。						
(3)授業の概要/Overview of course	免疫応答の成立、作動の原理、制御法を理解し、自ら研究を立案し実施するための、関連情報収集法、分子生物学的および免疫学的手法を用いた実験技術、論文のまとめ方について、免疫制御学教室で進行中の実際の免疫学研究の一部を担当させながら指導する。独立して免疫制御学関連の研究を実施でき、学会発表、論文の執筆ができる素養を身につけさせる。						
(4)授業計画/Course plan	通年、月曜～金曜：扱う研究分野は免疫学全般となるが、特に以下の領域に重点を置いた指導を行う。 (山条秀樹) 自然免疫系・獲得免疫系に着目した免疫制御機構の解明 毎週月曜日に前週の進捗状況を紹介し、解決すべき問題、今後の進め方などについて討論する。						
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	討論を通じた理解度の判定。(i) 問題の設定が適切であり,(ii) その問題の背景を説明できており,(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており,(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており,(v) その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している(秀)」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある(優)」。4項目までできていれば「やや上にある(良)」。3項目までできていれば「水準にある(可)」。						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	特になし。						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	担当教員が随時質問を受ける。						
(8)授業の形式/Course format	教員の指導の下、実際に実験、討論を通じて授業を進める。						